

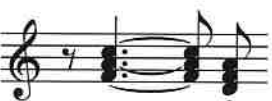


『コスモスの丘で』 寸評

- ・ さぞかし見事なコスモス畑を目にされたのですね
- ・ Vn.のメロディの結構が際立ってすぐれている 特にm.13-16
- ・ Vn.にふさわしいアーティキュレーション、奏法の変化、弓使いの指示
- ・ 自在なピアノ伴奏の作出、緩急の盛りこみ、文句なし
- ・ 発想標語の選択も適切←イタリア語の素養

完成度をさらに上げるために

- ・ m.6 Vn.のクレッシェンドは音符のある3拍目アタマまでにしよう
- ・ m.8 *fp*はたとえば *sf*とし、2拍目に *p* を再度振ったほうがよい
←ピアノは打鍵後ディナーミクを変えられないから
- ・ m.5-6 Vn.のスラーはタイの終わりの音符（二番目の音符）まで伸ばしてもよい
- ・ m.5 Vn.のテヌートはおそらく音価の指示ではないはず
←*marcato*（はっきりと、クッキリと）だと思われる
- ・ m.11 b.3-4 F/Cにしたらどうだろう 
- ・ m.3 b.4 Vn.のメロディを二度上げたい 
- ・ m.14 ピアノ右手の記譜  3拍目アタマまで伸ばさなくてもいいかも
- ・ m.5, m.13 b.1-3 ピアノの右手の和音 符尾を上向きにしよう
- ・ 全体を通してピアノの右手三和音が音高を自在に動き、華やかな効果が上がっている
- ・ 一方で、和声進行の原則である共通音の保留、半音進行は同一声部で、属和音に向かうとき上三声は下行する等も、意識しておこう

m.=measure 小節番号のことです。

b.=beat 拍のことです。

たいへんよくできました。

持魔 勉